

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成28年2月23日(火曜日)	開 議 閉 議	午前10時00分 午前11時00分
出席委員	石野 山本 三上 奥野 田中 小松 木曾 (堤委員 欠席)		
執行機関 出席者	侯野生涯学習部長、野々口スポーツ推進課長		
事務局	山内次長		
傍聴	可	市民 1名 報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 事務局日程説明

3 案件

行政報告

(1) 第1回 京都亀岡ハーフマラソン大会について(生涯学習部:スポーツ推進課)

(生涯学習部 入室)

生涯学習部長 あいさつ
スポーツ推進課長 説明

質疑

<木曾委員>

交通停滞で苦情を聞いているのは事実である。

国道372号を閉鎖するのは難しいと思うので、できれば川東の方がよいのではないか。保津の河川敷も駐車場に使えるし、そういう面ではよい方向に行けるのではないかと考えている。七福神もあるし、亀岡の魅力を出していくという点でもよいのではないか。

もう一度検討いただいて、住民に迷惑がかからないようにしていく方がよいと思う。今後、長期的に継続していけるような大会のあり方を検討願う。

<スポーツ推進課長>

周辺の方から、3時間動けない状態の中で、緊急時にどうするのかと大変なおしかりを受けたのも事実である。今のコースで実施するならば片側通行も考えていかなければいけないと思っている。

川東方面での実施については、京都スタジアムも今後建設されていくことになるので、ハーフからフルマラソンの検討も含めて行っているところである。当面は現在の場所での開催になると思うが、地域住民の皆さんの理解があってこそその大会であるの

で、今後、検討を行っていききたい。

<木曾委員>

スタジアムの一帯は公園にもなるので、駐車場もでき、駅の北側として交通アクセスも便利で、適した場所になるので、検討をよろしく願う。(要望)

<奥野委員>

第1回ということで予想もしないことが起こったことも事実だと思う。

住民からの苦情と併せて、旅館からは営業妨害ということも聞いているが、今後、よりよいものとなるように努めていただきたい。

沿道の草刈りについても、最終的にはボランティアでももらったようであり、そういった予算の確保についても今後の課題としていただきたい。

<スポーツ推進課長>

沿道の草刈りについては、南丹土木にもお願いしていたが、年1回しかしないということであった。来年度以降は予算化により地元、または業者での実施を検討したい。

湯の花温泉街からの苦情も多くあったが、大会が終わってからかなりの入浴客があったと、うれしいことも聞いている。

湯の花温泉とのタイアップ、宿泊も含めて、今後の検討課題の一つと考えている。

<三上委員>

坂はあったが、子ども達の太鼓の応援もあり、皆さん温かくてよかったと思う。また、今も話があったように国道を止めるということもあった。

ランナーの立場からは雨が降った時にどういう対応になったのかと思う。競技場から出て、石畳を降りていくということで、雨が降った時に滑るので、ランナーが殺到すれば怖いと思った。国道372号からスタートする等、スタート場所の工夫が必要ではないか。

<スポーツ推進課長>

スタート部分については、反省会の中でも意見が出ていた。もう少し人数の枠を広げて、道路からスタートすることも検討していききたい。

<山本副委員長>

元旦ロードレースからハーフマラソンに変えた一つの理由が観光面への波及効果ということであった。年代別の参加者を見てみると、60代の男性、50代の女性の人数も多い中で、宿泊面での課題があると感じているので、今後、検討願いたい。

また、競技が終わった後に亀岡にとどまっていたり工夫等、何か取り組みをされていることはあるか。

<スポーツ推進課長>

観光案内については、受付の際に「るるぶ」等の観光案内パンフを袋に入れて配布している。また、ホームページの中で、JTBのバナーを張り付けて、観光プラン、コースを紹介していたが、あまり利用はなかった。

温泉組合との協議をする中で、多くの人に宿泊していただけるように打って出なければいけないというのが反省点である。第1回ということで詰めが甘かったところはあるが、次回以降、PRに努め、観光とのタイアップを図っていききたい。

<石野委員長>

アンケートの回収はできているのか。

<スポーツ推進課長>

回収している。3月1日の実行委員会の総会で、集約したものを紹介していききたい。

競技役員とボランティアの方にもアンケートを行い回収しているので、その実務に携わっていただいた人の意見も整理する中で、今後、よりよい大会となるように目指

していきたい。

<石野委員長>

コースについては、将来的に最良のものとなるように検討していただきたい。

今、折り返しとしているが、亀岡の中を回るようにするとか、また、他の種目と時間的にずらして、輻輳することがないように工夫してもらいたい。

先ほど、トイレの表示を大きくということであったが、トイレの数はたくさんあったので、よかったと思う。

<スポーツ推進課長>

トイレについては、表示が小さかったとの意見もいただいた。

今回のハーフマラソン大会については公認コースをメインにしているので、当初は周回コースの設定を考えていたが、警察との協議の中で今回実施したコースに決まった。

今後、川東方面のコースも頭に入れながら、できるだけ早く固定したコースで考えていきたい。

<木曾委員>

近隣の方は3500人程度でおそらく日帰りであったと思う。残る人はわずかだが、この人達を観光につなげていくことが大事である。近隣の方の対策と観光で泊まらせていただく人の対策と、二面性をもった運営が必要である。大会運営と観光を合わせた中で盛り上がっていけるように考えていただきたい。(要望)

<三上委員>

この大会をきっかけとして、リピーターの確保が図られれば、それでよいのではと思う。この大会で宿泊も観光も、何もかも考えなくてもよいのではないか。

前日受付の割合はどうであったか。

<スポーツ推進課長>

前日受付はあまりなかった。500人程度であったように思う。

<三上委員>

前日受付が増えると観光も増えると思う。

コースの下見等、前もって訪れる人が増えると、まち、商店街が賑わうようになると思うので、長い目で検討願いたい。

<石野委員長>

篠山マラソンでは、実際にそのようなことが行われている。

また、「るるぶ」にマラソンの特集ページを設けてもらう等の工夫を願う。(要望)

<奥野委員>

スタッフの確保が大変かと思うが、今後もよりよいものとしていくためによりよく願う。(要望)

<三上委員>

前日受付の会場で、案内がうまくいっていなかったのではないか。

<スポーツ推進課長>

市制60周年のイベントがメインとなっていたので、十分な案内ができていなかった。

今後、もう少しやり方を検討したい。

(質疑終了)

(生涯学習部 退室)

10:55

4 その他

次回の日程について

- ・ 3月11日（金）午後の予定
3月定例会における議案審査。

< 石野委員長 >

他になければ、これで総務文教常任委員会を閉議する。

11:00 閉議